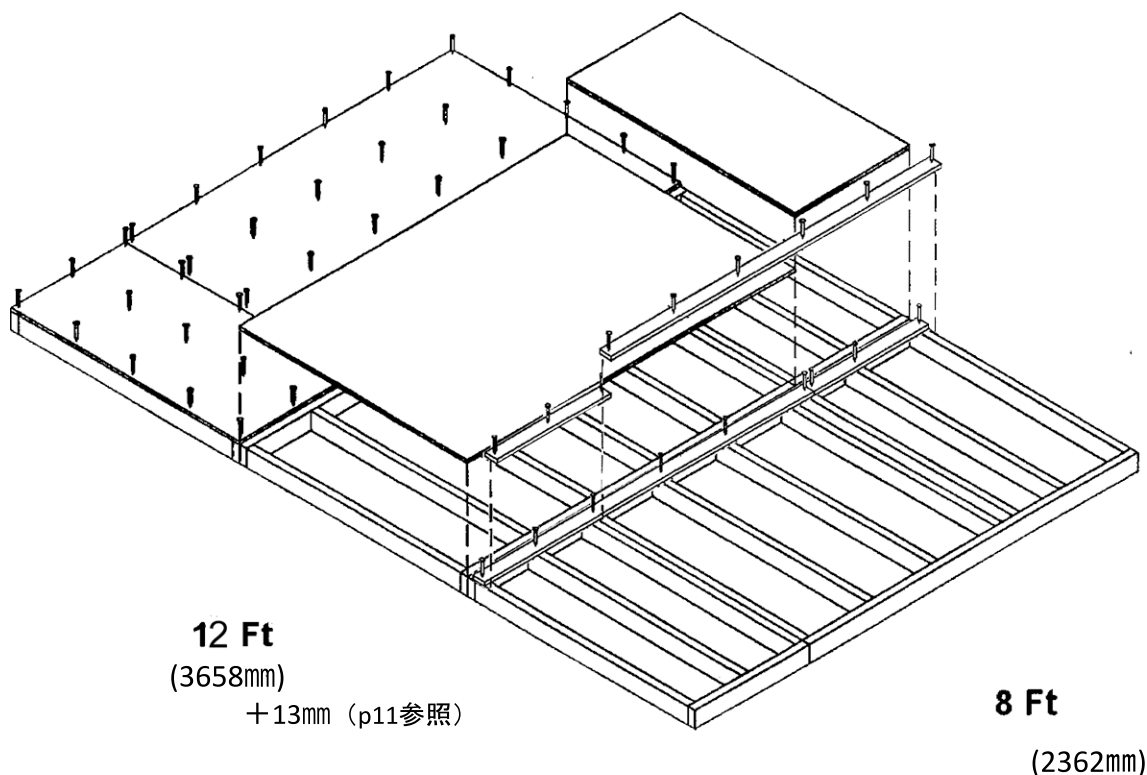


PRE-CUT FLOOR ASSEMBLY INSTRUCTIONS FOR
The 8 x12 with Porch MODEL

① 床の組み立て クラブハウス8x12



★床のパーツリスト

【合板】

- Plywood Sheets 69" x 48" - 2
No. PL-I6948 (1753 x 1219mm)
- Plywood Sheets 24" x 48" - 2
No. PL-I2448 (610 x 1219mm)

【デッキボード】

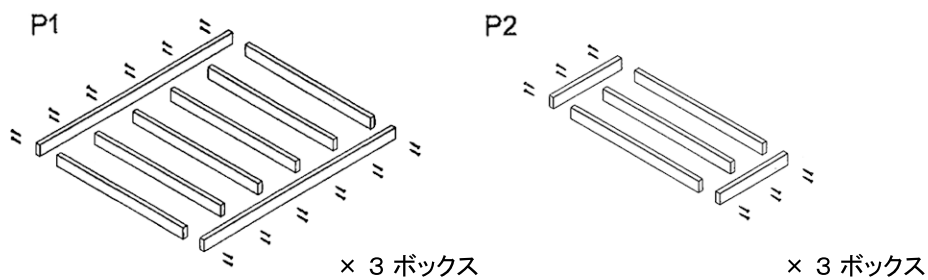
- Floor Boards for the Porch
No. P-1324 (16 x 64 x 610mm) - 20
- No. P-1369 (16 x 64 x 1753mm) - 20

【根太】

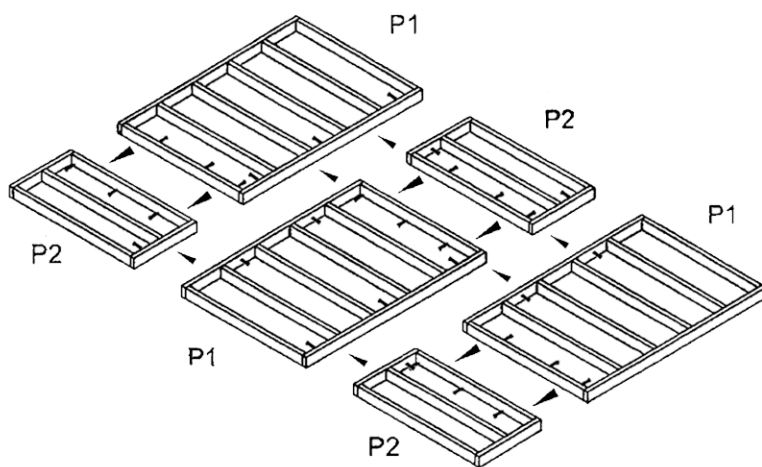
- Rim Joist 2" x 4" - 69" - 6
No. P-2469 (40x90x1753mm) 側根太
- Floor Joist 2" x 4" - 45" - 28
No. P-2445 (40x90x1143mm) 根太
- Rim Joist 2" x 4" - 24" - 6
No. P-2424 (40x90x610mm) 側根太
- Joist Trim Board - 1/2" x 4 1/8" - 46 1/2" - 2
No. G4B46G (13x105x1181mm) トリムボード

床の組み立ては3ステップあります。

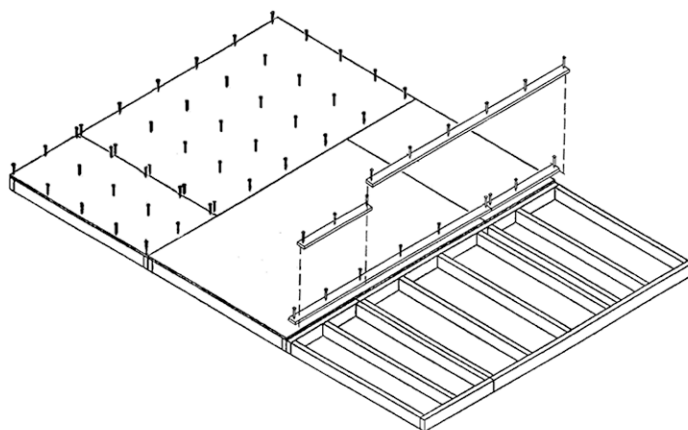
Step 1. 根太ボックスを2サイズ(P1&P2)×各3ボックス組み立てる。



Step 2. 組み立てた根太ボックスを接合する。



Step 3. 室内の床となる合板を根太に打ち付けたら、ポーチのデッキ1x4材を1本1本ネジで留める。



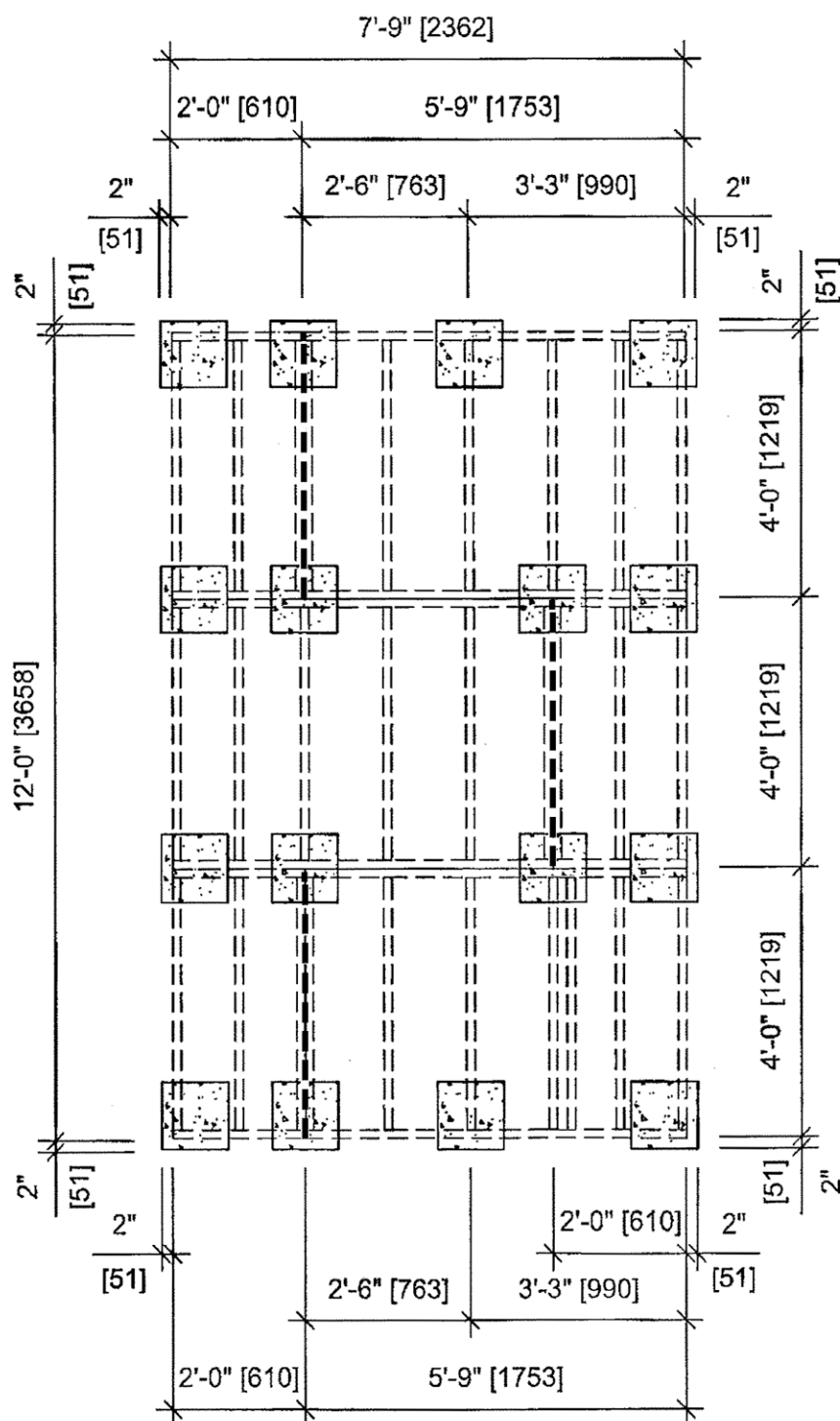
◎基礎の準備 クラブハウス8x12

★根太BOX (あらかじめ組み立てが必要です)

1753×1219mm ×3 box

610×1219mm ×3 box

※イラストの太点線はBOX同士の接合箇所



※[]の数字はmm

NOTE:

- ・イラストでは30x30cmの基礎ブロックを敷いています。
 - ・ブロックは根太boxの接合箇所などに注意して配置する必要があります。
 - ・ブロックのサイズは用意出来るもので結構です。
- ※ただし上記より小さいものを使用する場合はブロックの数を多めにしてください。

FOUNDATION PREPARATION

1. 2x3または2x4のまっすぐな木材などを周囲のコンクリートブロックに渡し、水平を確認します。各コンクリートブロックの下の土を足したり取り除いたりして高さを調整したら、内側のコンクリートブロックも同じように調整します。図1参照
最後にあらゆる箇所のコンクリートブロックを水平器でチェックし平らになっていることを確認して下さい。

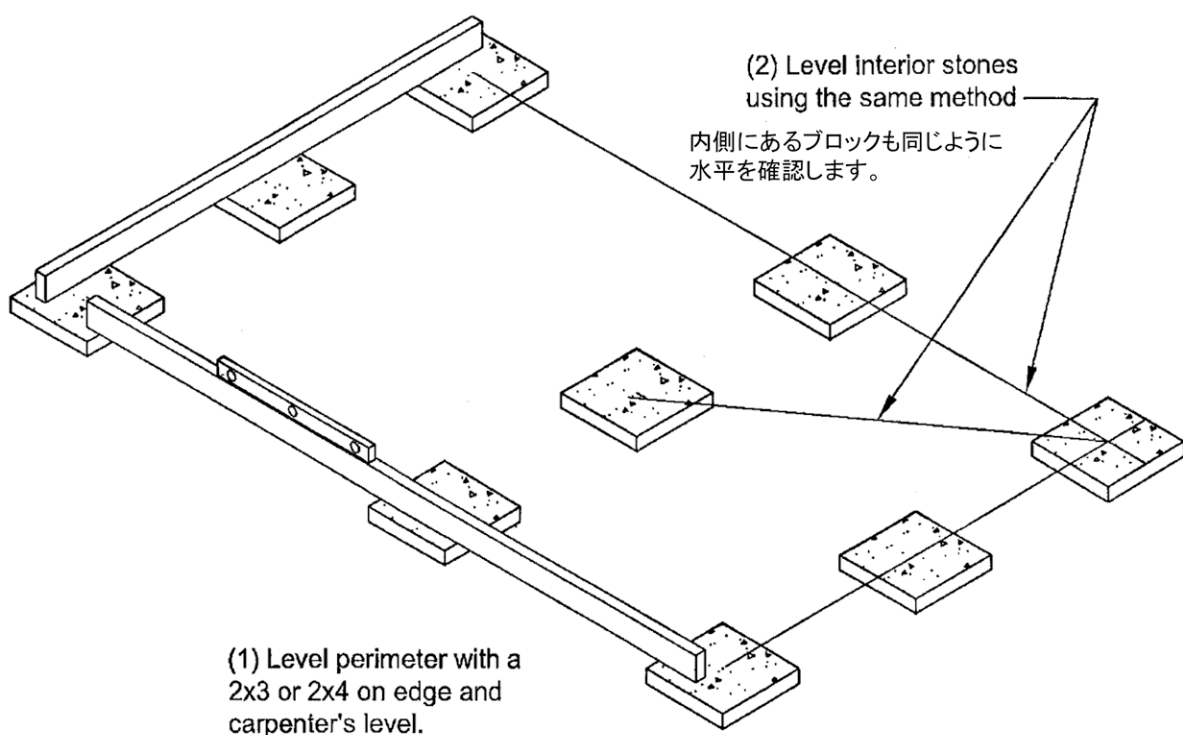


Fig. 1

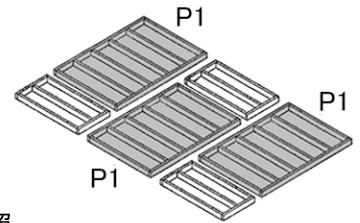
2x3材(約38x65mm)や
2x4材(約38x90mm)
などの長尺材を使って、
はじめに外側にあるブロックの
水平を確認します。



水平を確認しましょう!

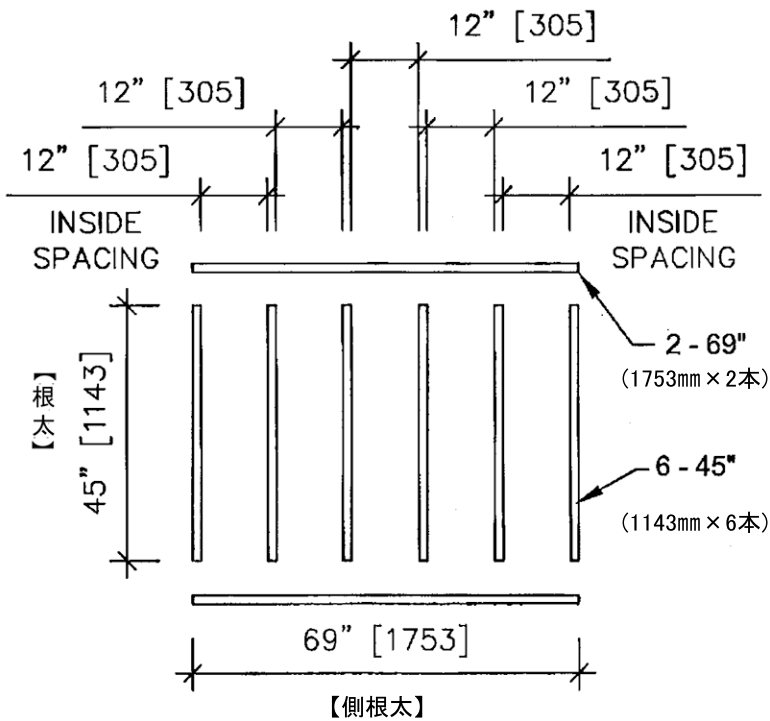
JOIST BOX ASSEMBLY

～ 根太ボックス (P1) の組み立て ～



- ・長さ1143mmの根太 (Floor joist) と1753mmの側根太 (Rim joist) を取り出し並べます。図P1-1参照
- ・1ヶ所につき2本の3インチ (76mm) ネジを使って留めます。図P1-2参照
- ・P1 根太ボックス (1753x1219mm) の完成。これをもう2つ組み立て、3ボックス用意します。図P1-3参照

※ [] の数字はmm



69" x 45" floor panel layout.

Fig. P1 - 1

パーツの配置

2本の3インチ (76mm) ネジを使って
両サイドからそれぞれ留めます。

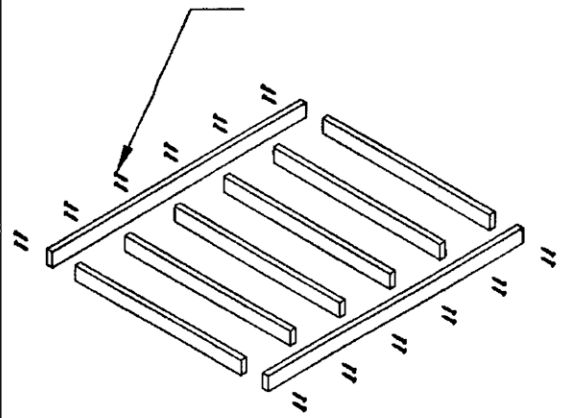


Fig. P1 - 2

P1 根太ボックスの完成

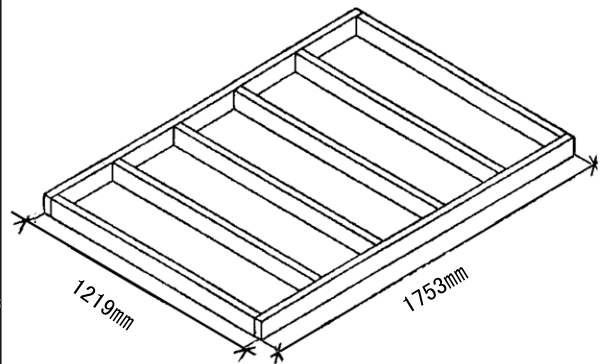
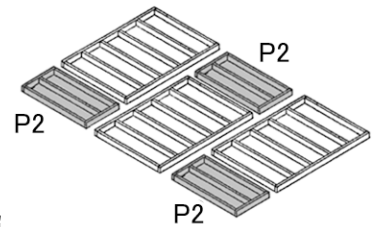


Fig. P1-3

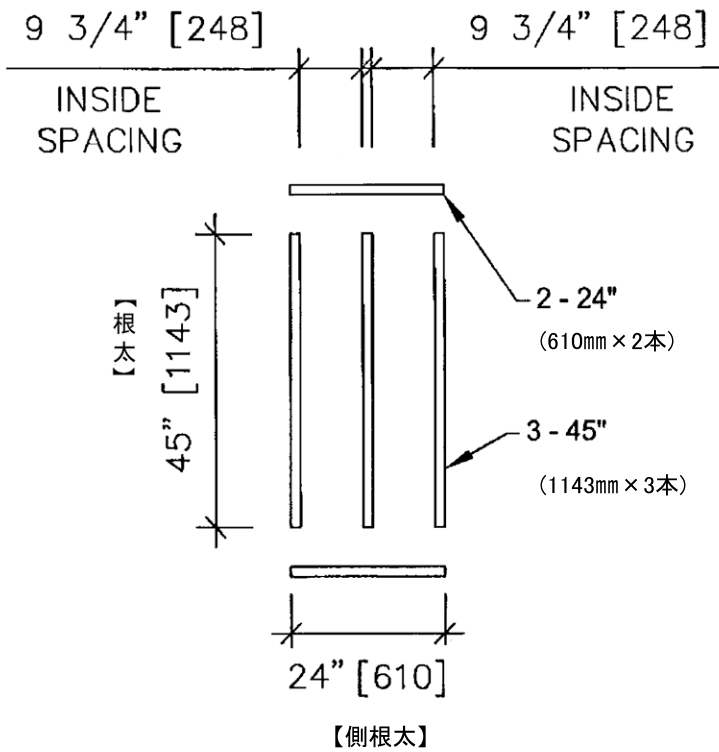
JOIST BOX ASSEMBLY

～ 根太ボックス (P2) の組み立て ～



- ・長さ1143mmの根太(Floor joist)と610mmの側根太(Rim joist)を取り出し並べます。図P2-1参照
- ・1ヶ所につき2本の3インチ(76mm)ネジを使って留めます。図P2-2参照
- ・P2 根太ボックス(610x1219mm)の完成。これをもう2つ組み立て、3ボックス用意します。図P2-3参照

※[]の数字はmm



24" x 45" floor panel layout.

Fig. P2 - 1

パーツの配置

2本の3インチ(76mm)ネジを使って
両サイドからそれぞれ留めます。

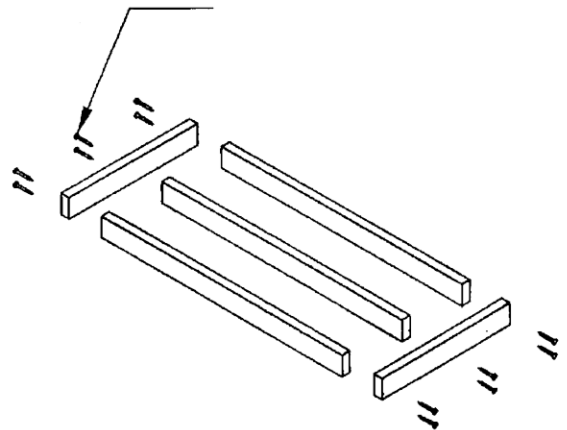


Fig. P2 - 2

P2 根太ボックスの完成

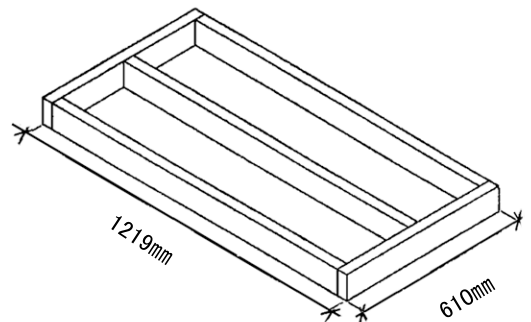
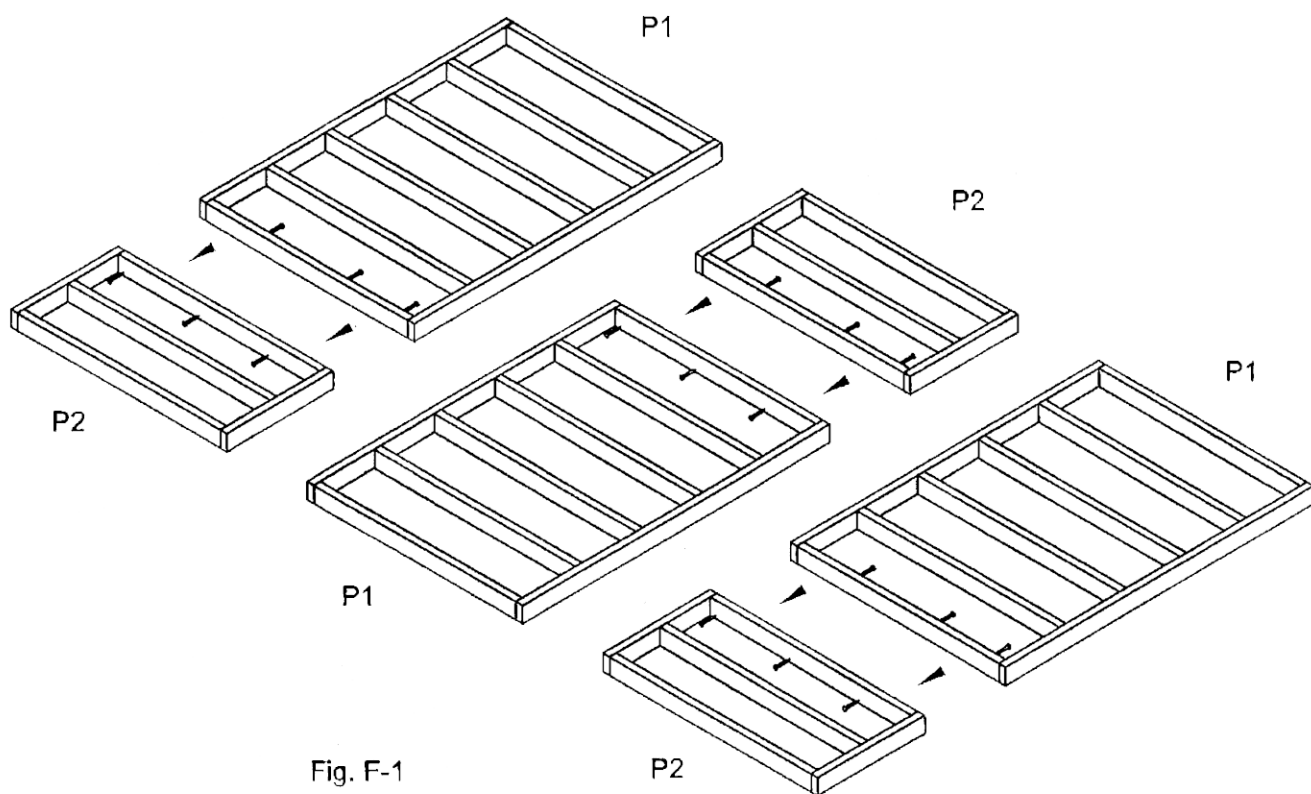
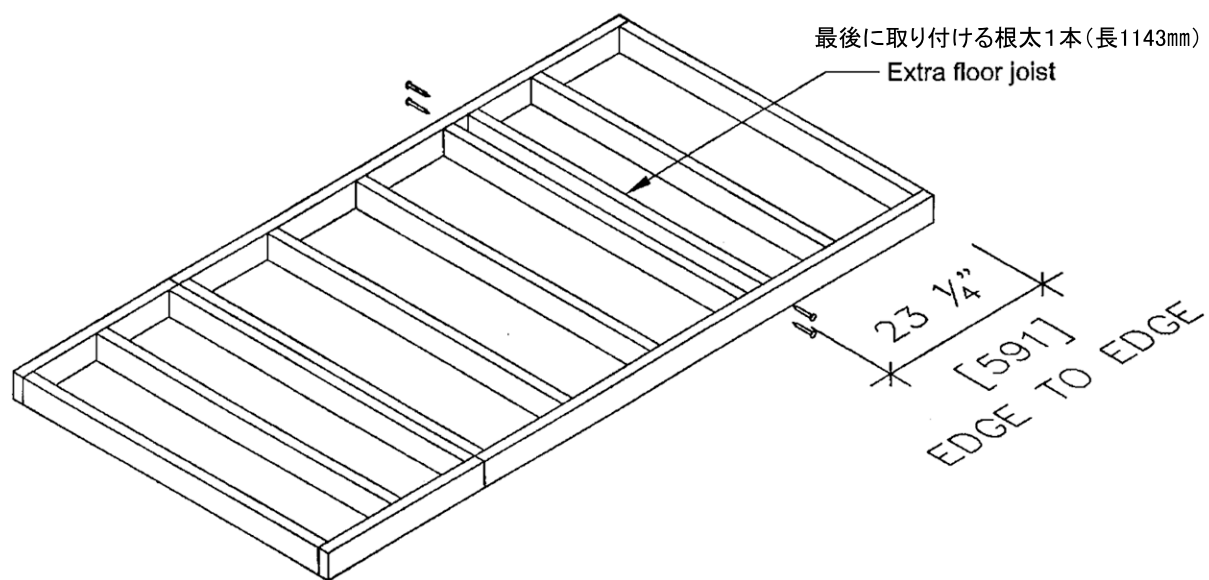


Fig. P2 - 3

1. まずはじめに組み上がった大小の根太BOX(P1,P2)をそれぞれ6本の3インチネジ(76mm)を使って接合します。図F1参照



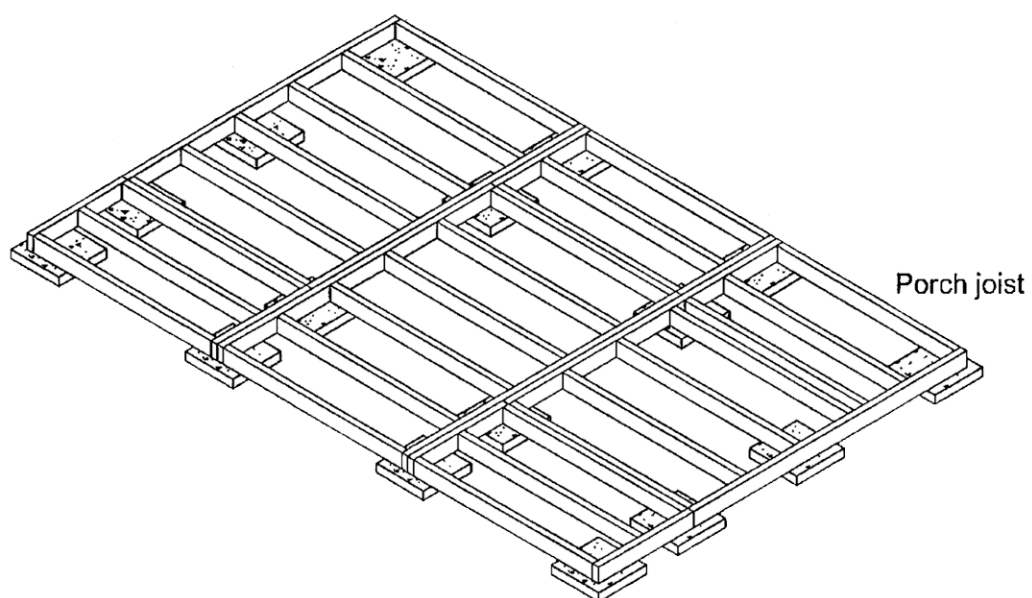
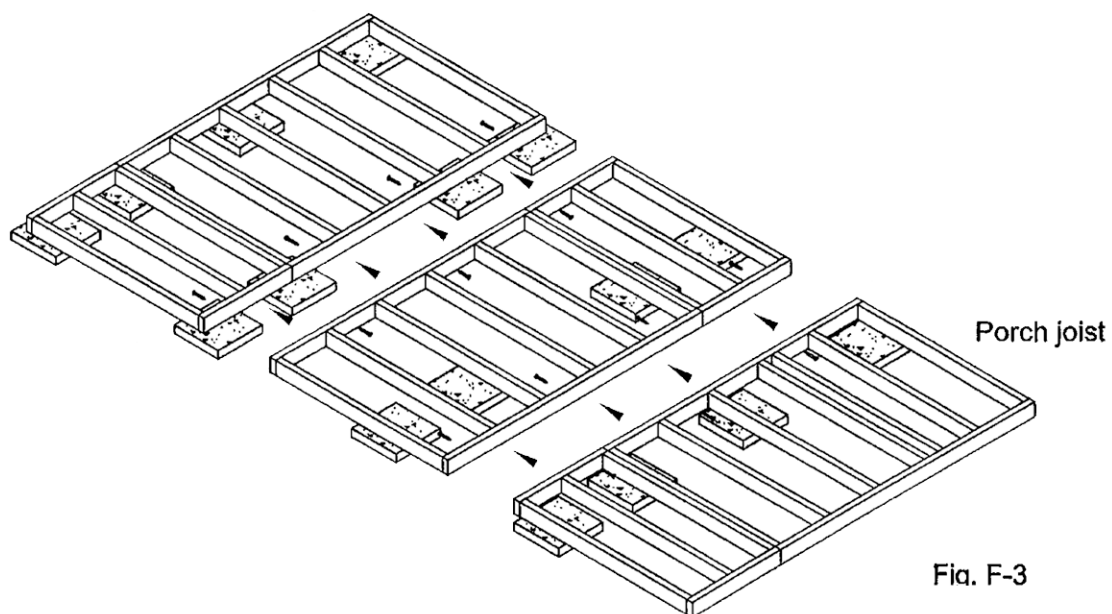
2. 接合したP1&P2根太ボックスの3セクションのうち、1セクションはポーチ部分となります。そのポーチセクションに残っている1本の根太(長1143mm)を4本の76mmネジを使って取り付けます。
 図F-2参照
 まずポーチ以外の2セクション同士を接合します。準備した基礎ブロックの上に2セクションの根太を置き、正しいポイントに置かれていることを確認したら、7本の3インチネジ(76mm)を使ってそれぞれ接合します。
 図F-3参照
 2つの根太セクションを正しく接合出来ていることを確認した最後にポーチセクションを同じようにネジを使って接合します。



ポーチセクションの根太

Fig. F-2

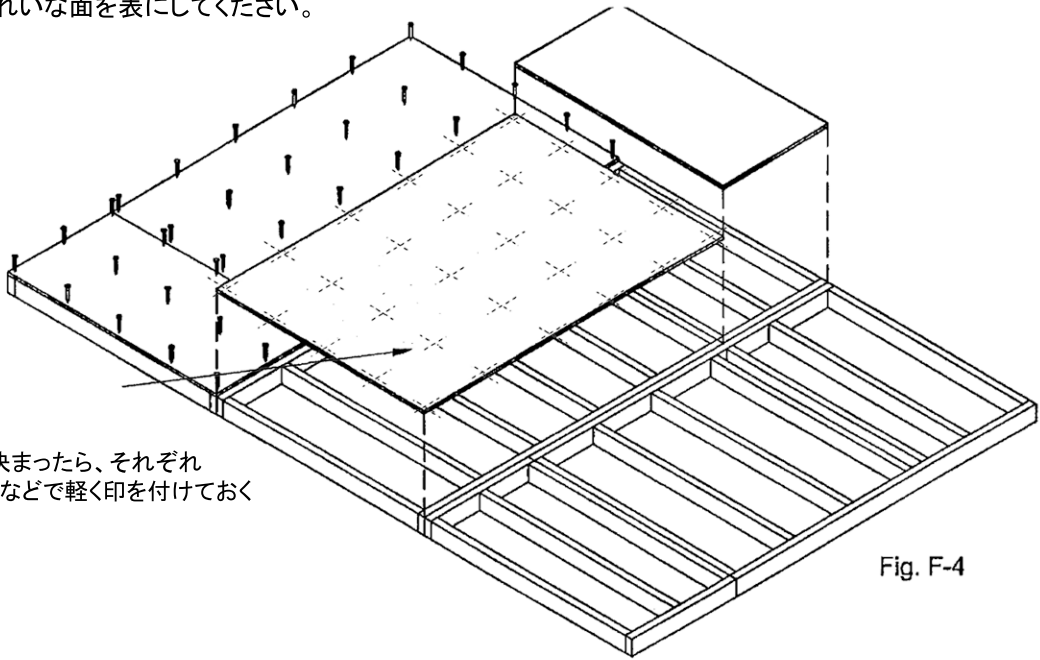
3. あらゆる方向から水平を確認し、床パネルの上を歩いたり跳んだりして沈む箇所あるいは盛り上がっている箇所がないかどうかを確認します。
必要があればブロックの下の土を足したり除いたりして水平になるまで調整して下さい。



水平を確認しましょう！

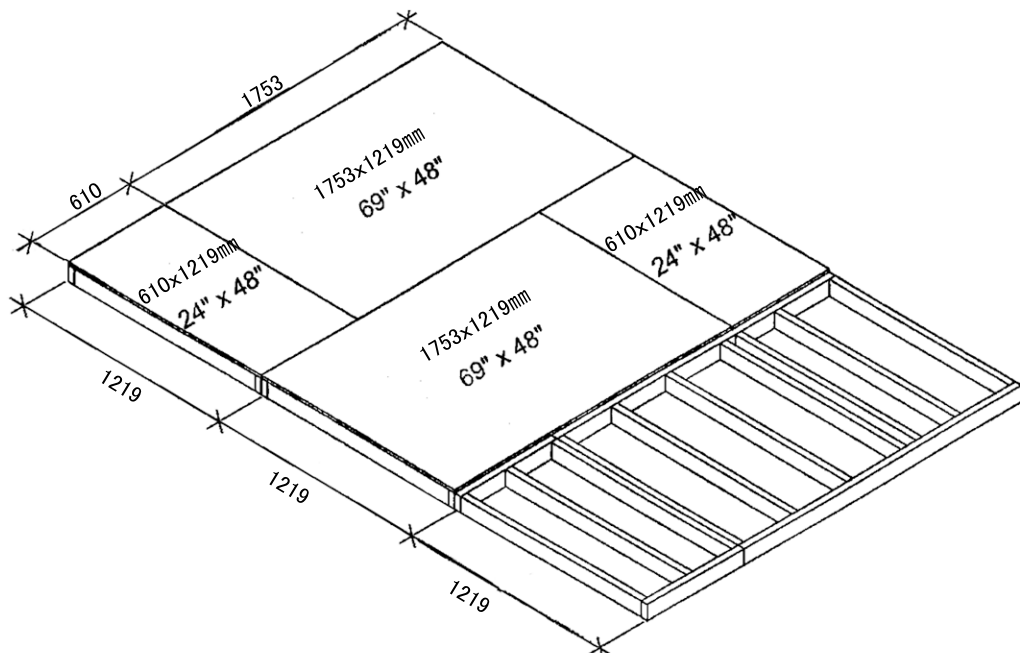
4. 水平になった根太の上に床板となる合板を張っていきます。張る前に根太の上に並べ、正しい位置を確認してください。図F-4参照
 合板張りは、2インチ(50mm)ネジを使って約30cm間隔で進めていきます。例えば69"×48"(1753×1219mm)の合板を打ち付けるためには30本のネジが必要となります(横列6本、縦列5本のネジ留めが必要)。
 ※ネジは必ず、下に通っている根太の中心部に留まるようにしてください(ネジが下から飛び出ないように)。

★合板はきれいな面を表にしてください。



合板を置く位置が決まったら、それぞれ
 あらかじめエンピツなどで軽く印を付けておく

Fig. F-4



6. ポーチ部分にデッキボードを張っていきます。

長さの異なったデッキボードは、1列ずつ交互になるパターンで張っていきます。正面から見て、右に長24インチ(約610mm)、左に長69インチ(約1753mm)のものを張ったら、次の列は左に長24インチ(約610mm)、右に長69インチ(約1753mm)のものを張っていきます。ネジ留めする前にいちどすべてを並べ確認してから作業を進めて行くといいでしょう。

ネジは長短デッキボードのつなぎ目に2本の2インチ(約50mm)ネジをすぐ下にある根太に対して留め、その他の根太にはそれぞれ1本の2インチ(約50mm)ネジを使って留めます。図F5参照

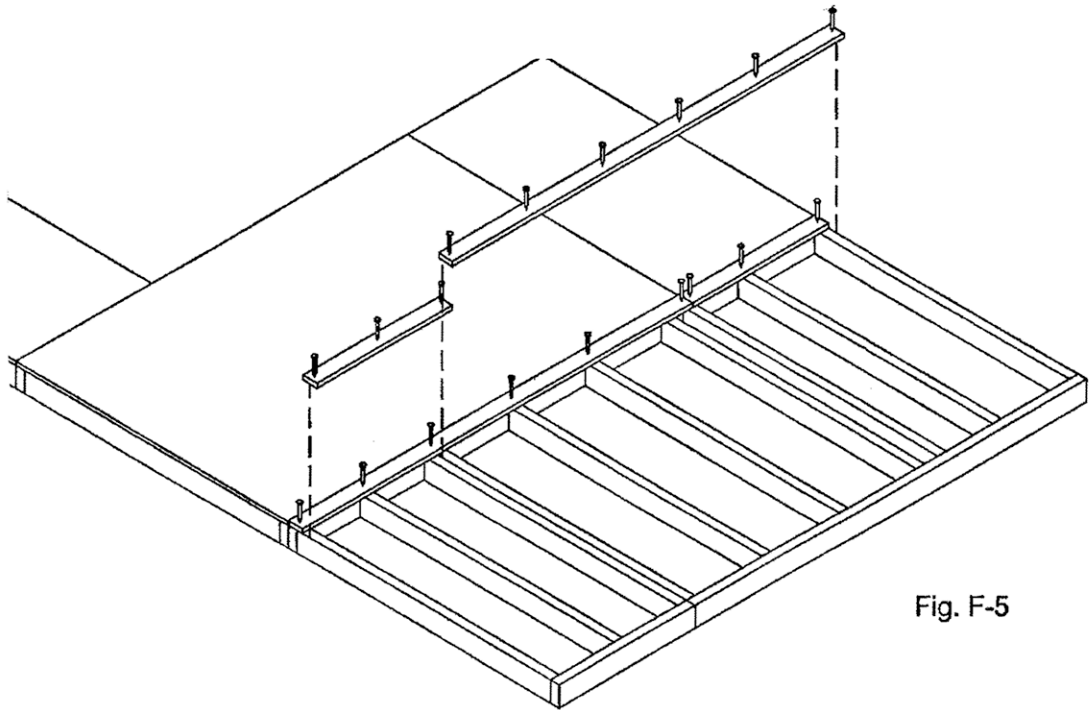
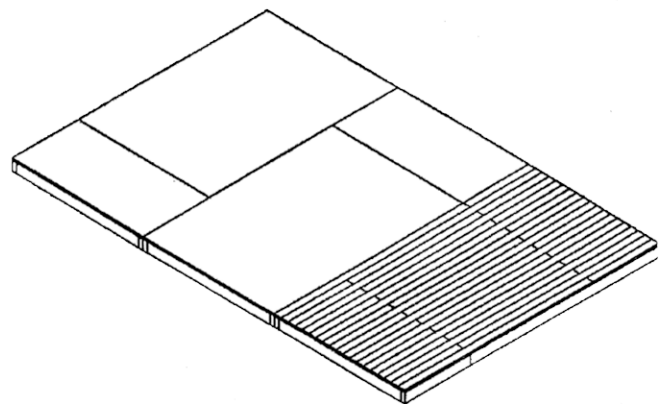
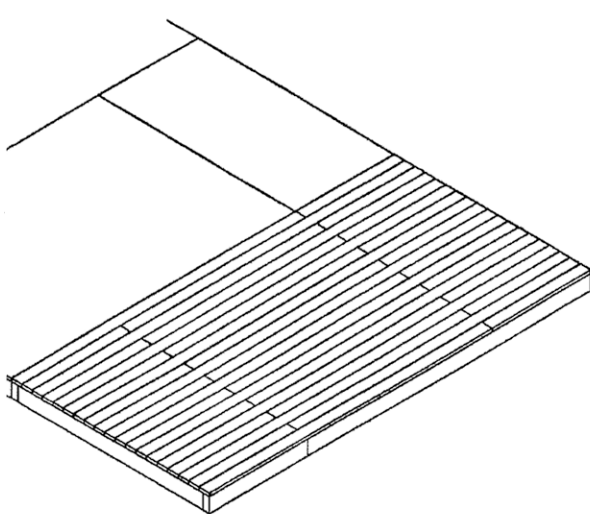
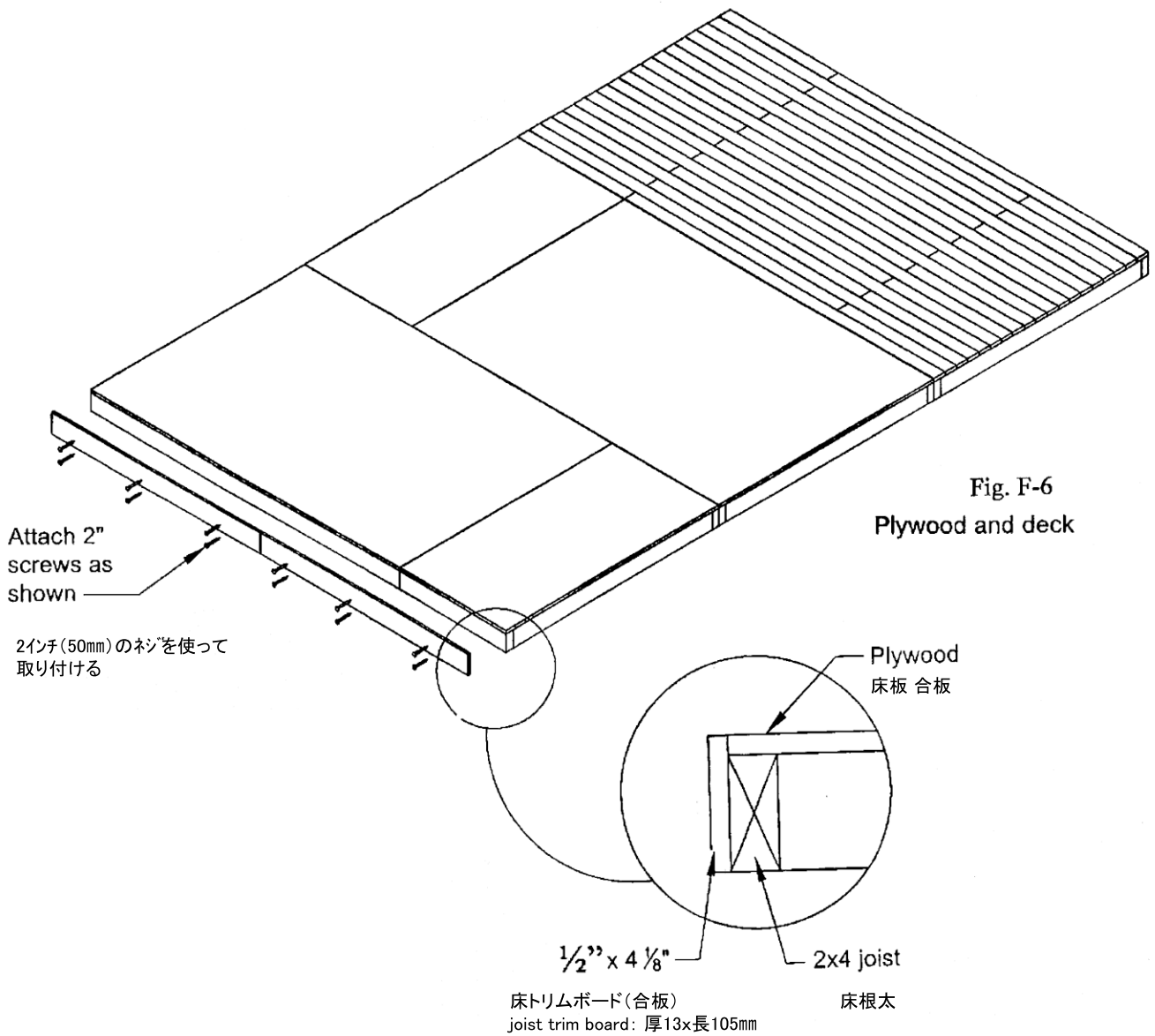


Fig. F-5



7. 床の合板とポーチのデッキボードを張り終えたら、2枚の床トリムボード(joist trim board)を取り付けます。クラブハウス後面となる床底部にそれぞれ6本の2インチ(約50mm)ネジを使って留めます。図F6参照



★床の完成です。

床ウラと側面(お好みでオモテも)に無色やナチュラル色などの塗装することをお奨めします。